

# 中央ろうきん 友の会ニュース

千葉地区本部台風(15号・19号・21号)  
被災者への支援活動及び支部活動報告 他

【編集】中央ろうきん友の会事務局

【発行人】鈴木政雄

【発行】2020年5月15日 No.13

## 千葉地区本部 今年の台風で被災した「高齢者福祉施設」 「小中学校等」35か所へ見舞金を贈呈!!



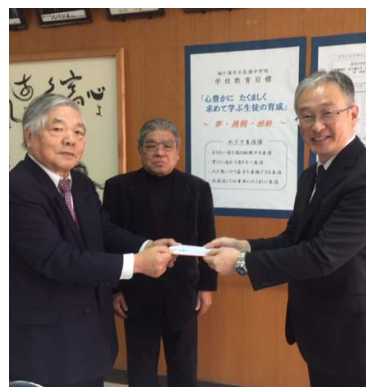
地区本部役員会の模様

このことを受けて、千葉地区本部は10月15日の役員会以降、支援金の取り扱いについて（各支部への配分方法や活用策）役員会や支部役員研修会などで検討・協議を行った結果、「今日まで時代を支えてこられた高齢者の方々と次代を生きる子供たち」に絞り、特に被害の大きかった「高齢者福祉施設」や「小中学校等」を対象に見舞金を送ることを決めました。

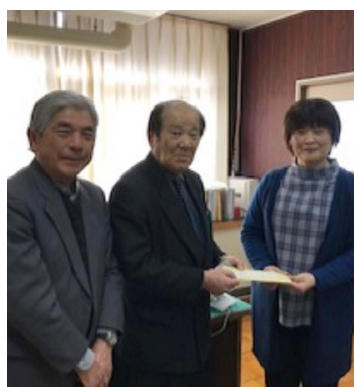
### 数度の役員会で見舞金の

活用策などを協議!!

本部役員会（2019年10月4日）は台風15号で甚大な被害を受けた千葉地区15支部の会員が一日も早く元気になるよう「災害支援基金」を活用した支援（総額75万円）を行うことを決め、支援金の活用方法や支部別配分額は千葉地区本部に判断を委ねる扱いとしました。



岡田副会長、木更津支部丸事務局長（長浦中にて）



市原支部平野会長 齋藤会長（姉崎東中にて）

この決定を受け、各支部が上記施設の被害状況の調査を行い、被害が大きかった南総地区（安房・君津・市原）、千葉・茂原地区（長生・千葉）、東総地区（東総・山武・印旛地区）の老人福祉施設（4か所）、児童養護施設（4か所）、小学校（12か所）、中学校（14か所）、幼稚園（1か所）の35か所を贈呈先として最終確認しました。

その後、2020年1月16日から地区本部役員と支部役員が帯同して対象先を訪問するなかで贈呈式を行い2月20日に35か所すべての支援先に対する見舞金の贈呈が終了しました。贈呈先からは心のこもったお礼状が友の会千葉地区本部宛に届いております。

### 【贈呈時のエピソード】



小林副会長（成田学園にて）

安房地区の中学校では校長先生が社会教育の観点より支援の現場を生徒に見て体感してもらいたいと生徒会長・副会長に同席してもらい、見舞金を生徒会長に手渡しました。生徒会長からは「学校生活をより元気にしていきたい。」といった思いを含め感謝の言葉を受けました。

### 【贈呈後の感想】

各対象先の被害状況を聞くと、校舎への土砂の流入、窓ガラスの破壊、また雨漏れによる天井のしみや腐食がまだ補修もされずに残っているなど、台風15号・19号・21号による甚大な被害状況を改めて痛感致しました。一日も早い復旧を願う意味で見舞金を贈らせていただき各校から感謝されました。

本部からの丁寧なご支援に感謝申し上げます。

友の会 千葉地区本部

会長 齋藤 勝広